

令和8年度 第1回小樽市子ども・子育て会議 概要

日 時：令和8年8月6日（木）午後6時00分～午後7時10分

場 所：小樽市役所別館3階 第二委員会室

出席者：片桐会長、石月委員、松本委員、山口委員、大川委員、宇野委員、加藤委員、一鐵委員、
草島副会長、法本委員、倉本委員（欠席者：林委員、木村委員）

事務局：こども未来部長、こども未来部次長、こども未来部主幹、子育て支援課長、こども家庭課長、
こども福祉課長、子育て支援課教育保育係長、子育て支援課事業係長、子育て支援課主査、
子育て支援課事業係員

<1 議事>

(1) 小樽市子ども・子育て会議委員の交代について

●事務局より

資料に基づいて、委員の交代について説明した。

●委員からの意見等

特に無し。

(2) 第三期小樽市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況（令和7年度実績）について

●事務局より

資料に基づいて、第三期小樽市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について説明した。

●委員からの意見等

- ・ウイングベイに新設された地域子育て支援センターについて、「入場整理券を配布していて入れなかった」「小学生が来て走り回っていて危ない」「使っているおもちゃを他の子に取られる」といったトラブルがあり、足が遠のくという話を聞いたことがあるが、今の運営状況はどうなっているか？

⇒昨年12月のオープンから特に土日祝日は、一日あたりの人数が200名を超えるような日もあり、入場の制限を行っている日もある。小学生の利用については、基本的に親と未就学児のお子さんの利用としているが、兄弟で小学生がいる場合は同伴で入場を受入れているため、利用者の方に周知や注意喚起等を引き続き行っていく。

- ・産後ケア事業が人気というのをよく聞くが、アンケートなどは取っているのか？

すごくいい事業とは聞いているが、利用者の声を反映するともっと少子化問題もよくなると思う。

⇒アンケートを取る仕組みは既にあり、使った方からは必ず助産師を通じて報告をもらっているため、その報告を踏まえて今後の施策に反映させていきたいと考えている。

- ・病児保育について、小樽市民も札幌市の病児保育施設を使えるようになったのか？

有給が無くて困っている保護者の方が多いが、なかなかわかりづらいため周知の在り方を検討してほしい。

⇒今年の5月から小樽市民も札幌市の病児・病後児保育施設を使えるようになった。

周知については5月の最初に子育て支援課のインスタグラムで投稿をしたほか、広報おたるへの掲載、各施設に対しては5月の利用開始時にポスター（PDF データ）を送付して、施設内に掲示の協力を依頼させていただいているが、周知の方法については検討していく。

・乳児家庭全戸訪問事業について、どのくらいの母親が深刻に悩んでいるのか？

⇒数字で困りごとを抱えている方が何パーセントだとか、精神的な疾患等抱えている方が何パーセントというような数字では出していないが、助産師又は保健師が訪問をしてフォローが必要な場合には、産後ケア事業やこども家庭センターで行っている開放事業への参加を促したり、必要な機関等へつないでいる。

・保育所の待機児童について、公立の入所率が悪いのは保育士が少ないからだと思うが、公立なのであればしっかり100%で受け入れる体制にして待機児童がでないようにすべき。

公立の保育園の受け入れ態勢をしっかりとなればもっと待機児童が回ると思う。

⇒御指摘いただいたとおり、保育士の不足というのが主な理由になっているため保育士確保に向けた対策を検討していく。

・市役所の採用は4月のみか？

⇒正規職員の採用は秋採用と春採用の2回で、会計年度任用職員については随時募集をかけている状況。

・公立に限らず、民間も小樽市全域にわたって保育士が足りていない状況。新卒の方が事務職に就いたり、保育所に入ってくれる方がいない。フルタイムの保育士が集まらないため、フルタイム保育士1名を午前と午後に分けてパートタイム保育士2名として募集をかけたりしているが、それでも足りていない状況で厳しい。

(3) 特定教育・保育施設の利用定員の変更等について

●事務局より

資料に基づいて、定員の変更について説明した。

●委員からの意見等

特に無し。

<2 その他>

・稲北コミュニティセンターには児童館、体育室が併設されており、女子トイレにはおむつ取り換え台があるが、男子トイレにはない。最近、父親と乳児の来館者が多く、「おむつ替えはどこでしたらいいか」という質問が来るが、男子トイレにはないので、更衣室を案内している。小樽市の施設はどこの施設であっても、男子であれ女子であれ、気持ちよく利用できるような施設にしてほしいので、施設の設備を拡充してほしい。

・おむつ替えができる場所を確認できるマップ等はないのか？

⇒要望については把握した。おむつ替えができるマップは北海道でやっている「北海道赤ちゃんのほっとステーション」という事業があり、小樽市のホームページでも見る事ができる。ここでは授乳搾乳、おむつ替えができる場所として、小樽市内で今10か所くらい登録されているが、御指摘いただいたように、残念ながら市の施設としてはあまり進んでいないため担当課に伝え検討していく。

●事務局より

今後の日程について説明。

●委員からの意見等

特になし

以上